

## 臨床研究計画書

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

### 1. 研究課題名

胸部食道癌低侵襲手術におけるドレーン挿入の意義

### 2. 対象となる方

2020年7月～2022年6月に当院外科で胸部食道癌に対して低侵襲手術を受けられた患者さん。

### 3. 研究の目的

われわれが胸部食道癌に対して低侵襲手術が導入して10以上が経過している。開胸開腹による手術と比較してドレーン挿入の意義も変化している可能性がある。今回、当院における胸部食道癌手術におけるドレーン挿入の変遷およびアウトカムを検討する。その結果は2022年日本消化器外科学会学術集会において発表する予定である。

### 4. 研究期間

2022年7月（倫理審査委員会承認後）～2022年12月31日（予定）

### 5. 研究による患者の利益と不利益

**利益** 今回の研究結果により、胸部食道癌低侵襲手術において挿入すべきドレーンの数を減らすことが可能となれば、患者さんの術後QOLの向上にもつながると考えられる。

**不利益** 臨床診療・保険診療範囲内での手術手技の工夫と知識の発表であり、今回の研究で患者への不利益はないと考える。

### 6. 研究に使用する試料・情報の種類

診療情報等：診断名、年齢、性別、既往歴、血液検査、術中および術後合併症、などの  
周術期データ、手術時間などの手術記録情報、手術ビデオ 等

### 7. 研究組織

当院のみでの検討

### 8. 研究責任者

広島市立広島市民病院外科 主任部長 白川 靖博